

長野からです

谷田悦朗

研究会の皆さんご無沙汰しております。昨年7月に急な移動で、あわただしく長野に転勤し、現在に至っております。

昨年の新潟県は豪雨、地震と大きな災害がたて続きに発生し大変な年でした。ずいぶん落ち着かれたとは思いますが、あらためて、犠牲になられたかたのご冥福をお祈りするとともに、被災された方にはお見舞い申し上げます。

ところで、私と研究会の関係はそれほど長いものではなく、早々とこのような寄稿文を綴るようになるとは思いませんでした。

まあ、言ってみれば、新潟に来るも 去るも 仕事の都合ですから 残念!!! 転勤は、サラリーマンの宿命 斬りー です。

なお、現在、すでに原稿締切日が過ぎております。時間がありません、まとまりもなく書きなぐりますのでご容赦ください。

新潟へ

新潟には1999年に長野から転勤でまいりました。夏の上越周辺はよく出かけていたのですが、私にとって、米山、十日町当たりから北はほぼ未知の世界でした。今では、おおかたの地域がなじみとなりました。ありがたいことです。

新潟に住んでみて

しかし、新潟平野は細長く平ら。砂丘に人が住んでいる。弥彦神社がここにあった。隣が競輪場。へぎ蕎麦が珍しい。スーパーに売っている魚は長野と同じ。吹雪はすごい。佐渡が観光地ではなくなってしまった。泳いでいる鮭をはじめて見た。

その他、沢山、書ききれません。

研究会へ

新潟に赴任したときには、研究会の存在は知らずにいました。石川幹事からの誘いがあり入会したようないきさつだったと記憶しています。実は、石川幹事とは相当前から知り合いでした。(なんと、某建設会社 入社同期 腐れ縁?)

こんなことから研究会に参加することになったのですが、いきなり幹事は、多少の戸惑いを覚えていました。そのときは研究会に対して、どこそにいろいろある学会をイメージしていたので、相当堅いと先入観がありました。実際はそんなことはなく、楽しく、いろいろ勉強をさせてもらいました。ありがとうございました。機会があれば、見学会など参加したいと思っています。

*日特建設㈱

昨年災害

豪雨災害の時には、私はまだ新潟にいて、偶然にも、堤防が決壊した当日は十日町方面に出ていました。新潟への帰り道、中之島IC付近から茶色の湖と、時折濁流が渦巻く光景に遭遇するという貴重な体験をしました。洪水を目の当たりにしたのは初めてでした。

中越地震は、すでに長野で、こちらも、かなり強い揺れだったのでちょっとうろたえてしまいました。とにかく、震源、震度の速報を聞いたときは、鳥肌が立つ思いでした。

多くの会員の方が、現在、最前線で復旧、復興に携わっていると思いますが、がんばってください。私も、近いところにはいるのですが、直接かかわることができません。よろしくお願いします。

長野へ（近況）

新潟は長野からの単身赴任でした。とゆうことで、今回の転勤による生活環境上の変化は、唯一、週1帰宅が、ほぼ毎日となったことぐらいで、たいしたことはないのですが、この変化が私に及ぼす影響はご想像にお任せします。単身赴任経験者の方 どうでしょうか、未経験の方 妄想してみてください。

実は、昨日、山古志周辺に行っていました。核心部には入れませんでしたが、延々と続く道路の変状に地震のエネルギーの大きさを感じました。

さらに近況

本日、梅干の仕込みを始めました。先に本稿が上がりました。これから、漬け込みます。